

平成29年度 津別町の予算 77億5千万円の使い道



平成29年度の町の予算が、町議会の審議を経て決定しました。予算の総額は77億5190万円、前年度比1.4%の増となりました。また、行政サービスを中心とする一般会計は、53億6600万円、前年度比0.2%の減。今月の特集では、町の予算内容についてお知らせします。

歳入 歳入の7割を超える 編成 依存財源

一般会計予算額を科目別に見たのが下のグラフで、歳入は左下の円グラフです。

国から交付される地方交付税が24億9000万円（前年度比1.2%減）で歳入の46.4%を占めています。これに国・道支出金、地方譲与税などを加えたものが依存財源といわれるもので、歳入全体の71.7%を占めています。

また、町債は町営住宅等建設整備事業による土木債の減により、前年度比30.6%の減となりました。一方、自主財源のうち町税は5億4805万円、前年度より0.5%の増。分担金及び負担金は3259万円、前年度比122.2%の増となりました。

歳出 公債費は0.7%の 編成 減額

次に、右下の円グラフは歳出を科目ごとに表しています。歳出の8.4%を占める公債費は、事業を実施するときの借りたお金の償還金で4億5237万円を支払うこととなりますが、昨年度から比較すると311万円の減額となっています。

総務費では、新規事業として複合庁舎建設計画策定事業に981万円、地方創生事業に1億680万円、民生費では、障害者総合支援事業経費に2億3830万円、子ども子育て支援事業に1億2849万円、衛生費では、地域医療維持助成事業に1億4000万円を計上しました。

農林業費では、国営農地再編整備事業推進事業に7735万円、新規事業として木材工芸館整備事業に847万円、商工費では商工振興補助費等に3350万円を計上しました。

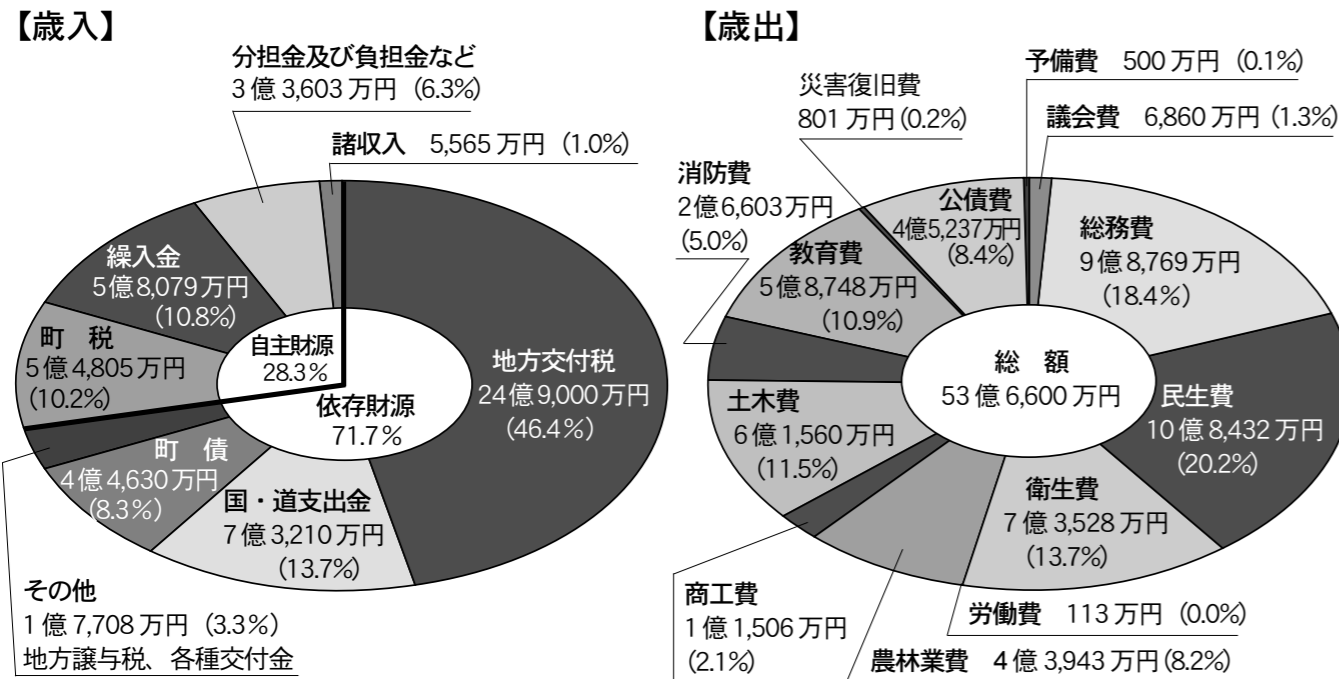
土木費では、道路橋梁維持管理費に1億2508万円、また、教育費では、新規事業としてトレーニングセンター施設整備事業に5213万円を計上しました。

町民 町民一人当たり予算 予算 108万4917円

また、表2は、今年の一般会計の予算額を町民一人当たりで割り返した金額です。

町民4946人の一人当たりの金額は、108万4917円となり、それぞれの科目に振り分けられた予算は、まちづくりや皆さんの暮らしに役立てられます。

グラフ 一般会計予算額の科目別内訳



【表1】平成29年度会計別予算額の内訳

会計名	予算額	前年度比
一般会計	53億6,600万円	0.2%減
特別会計		
国民健康保険事業特別会計	9億6,120万円	8.7%増
後期高齢者医療事業特別会計	8,800万円	0.7%増
介護保険事業特別会計	5億5,100万円	1.9%減
下水道事業特別会計	4億6,540万円	6.0%減
簡易水道事業特別会計(※)	3億2,030万円	681.2%増
合計	77億5,190万円	1.4%増

町民の生活全般にわたる施策を行うために経理するのが「一般会計」です。将来のまちづくりに向けた施策とともに、緊急性及び住民要求の高い事業を選択しながら、より効果的な予算編成を行い、その結果、本年度の一般会計予算の総額は、表1のとおり前年度比0.2%減の53億6600万円となりました。

特別会計の増減の主な要因につきましては、国民健康保険事業特別会計は保険給付費等の増、後期高齢者医療事業特別会計は後期高齢者医療広域連合納付金等の増、介護保険事業特別会計は保険給付費等の減によるものです。下水道事業特別会計は公債費等の減、簡易水道事業特別会計は上水道事業会計との統合及び建設改良費等の増によるものです。

(※)上水道事業会計が簡易水道事業特別会計に統合されたことから、簡易水道事業特別会計の前年度対比の増率が高くなっており、水道事業全体では、前年度比35.0%増となります。

【表2】町民1人当たり予算額 (一般会計分) 1,084,917円

※平成29年2月末現在の住民基本台帳人口4,946人で計算しています。

議会費	総務費	民生費	衛生費	労働費	農林業費	商工費
13,870円	199,695円	219,231円	148,662円	229円	88,845円	23,263円
土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	予備費	
124,464円	53,787円	118,779円	1,619円	91,462円	1,011円	